

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	人権教育推進事業						予算事業名	人権教育推進事業費				
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	人権施策推進基本計画			
			10	05	02	20						経常経費
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう 多様性を尊重し合える社会づくり 人権尊重のまちづくりの推進						事業の区分	主要事業				
							担当課係等	生涯学習課 生涯学習係				
事業期間	継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
自らが人権尊重の担い手であることを認識し、人権教育・啓発活動を推進するとともに、「市民一人一人が互いに人権を尊重しあい、共に生きる喜びを実現できる地域社会の実現」を目指していく。						11月1日：いばらき教育の日 11月：いばらき教育月間 12月4日～12月10日：人権週間 人権講演会：県内全市実施						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
人権啓発活動の推進 ・人権講演会の開催・広報ゆうき「人権コラム」での啓発活動 ・人権問題職員研修・出前講座の開催						一般市民、家庭教育学級生、市職員、教職員、PTA役員、市関係団体						
						【事業をとりまく環境の変化】						
						社会構造の複雑化、価値観の多様化の中で、様々な人権侵害が生起している。女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、外国人、感染症患者、犯罪被害者、インターネットによる人権侵害、ホームレスなど人権課題が多岐の分野に渡り、複雑化している。						
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】				
<ul style="list-style-type: none"> 人権講演会の開催 人権問題職員研修の実施 人権作品展示 人権作品応募に対する記念品配布 出前講座の実施 広報ゆうき「人権コラム」での啓発活動 				<ul style="list-style-type: none"> 人権講演会の開催 人権問題職員研修の実施 人権作品展示 人権作品応募に対する記念品配布 出前講座の実施 広報ゆうき「人権コラム」での啓発活動 				<ul style="list-style-type: none"> 人権講演会の開催 人権問題職員研修の実施 人権作品展示 人権作品応募に対する記念品配布 出前講座の実施 広報ゆうき「人権コラム」での啓発活動 				
■ 事業費												
			R06年度	R07年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0					
	県		支	出	金	0	0					
	地	方			債	0	0					
	そ				の	他	0	0				
	一				般	財	516	666				
歳 入 計 (千 円)			516	666								
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)	金額 (千円)								
	07	報償費	371	286								
	10	需用費	9	8								
	11	役務費	73	84								
	12	委託料	42	248								
	13	使用料及び賃借料	21	40								
歳 出 計 (千 円) (A)			516	666								
伸 び 率 (%)				29.06								
備 考	総合計画109ページ 予算書197ページ											

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	人権講演会の開催	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	人権講演会参加者数	人	目標	300.00	1,000.00	200.00
			実績	201.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民が様々な人権問題に対して正しい知識と理解を深める事は重要であり、当該事業の推進は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律で地方公共団体の責務が規程されており、行政が主体となって実施することが適切である。
	手段の妥当性	A 妥当である	特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	人権講演会及び人権作品応募記念品に係る経費、事務費のコストは適切である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	人権啓発活動は全ての市民を対象としている。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	人権啓発活動は、必ずしも数値として成果が表されるものでないが、地道に継続していくことが重要である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	広報ゆうきへの掲載、人権講演会、人権問題職員研修会、人権高揚作品展、計画通り実施されている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業は概ね計画通りに実施されているが、新型コロナウイルスの流行によって発生した差別や偏見、インターネットを悪用した人権侵害など、人権問題は複雑化し多岐にわたる。人権推進課と連携し新たな人権課題、理解が進んでいない人権問題等、様々な課題への啓発活動及び施策の推進を図る必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
人権課題への啓発活動については、広報ゆうき（人権コラム）への掲載による啓発及び、児童生徒の作文・標語作品募集等多様なスタイルで継続実施していく。 人権講演会の実施については、8月開催が定着しつつあるが、適切な時期、会場規模について今後も検討が必要である。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>人権問題は、同和問題を始め、インターネット・SNSによる誹謗中傷、LGBT問題等、日常生活の中には様々な人権問題がある。それ故、時代の状況に応じて効果的な人権教育・啓発活動を常日頃から行っていく必要がある。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり</p>
<p>管理課連絡欄</p>